

令和3年度 第3四半期地域経済動向調査

(令和3年10月～12月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査（新温泉町商工会）

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査（全国商工会連合会）

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査（豊岡公共職業安定所）

<https://www.hwiroha.com/area/Hyogo/Toyooka.html>

④業種別業況判断

但馬の経済指標（兵庫県但馬県民局）

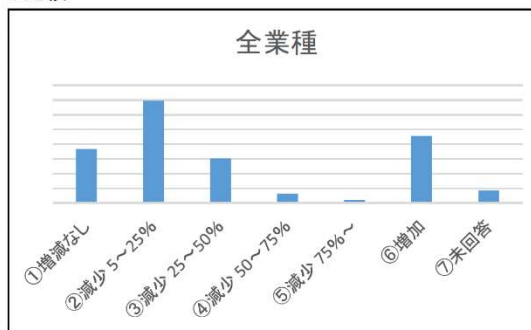
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

①会員アンケート調査 調査依頼 120 企業 回答 92 企業（うち QR19 企業）回答率 76.7%

1.売上状況

(令和2年10月～12月)と(令和3年10月～12月)の比較

全業種		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	17	18.5%
②減少 5～25%	32	34.8%
③減少 25～50%	14	15.2%
④減少 50～75%	3	3.3%
⑤減少 75%～	1	1.1%
⑥増加	21	22.8%
⑦未回答	4	4.3%
総計	92	100.0%



建設業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	5	29.4%
②減少 5～25%	2	11.8%
③減少 25～50%	3	17.6%
④減少 50～75%	2	11.8%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	5	29.4%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	3	27.3%
②減少 5～25%	3	27.3%
③減少 25～50%	3	27.3%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	2	18.2%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	1	16.7%
②減少 5～25%	4	66.7%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	1	16.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	3	15.8%
②減少 5～25%	9	47.4%
③減少 25～50%	3	15.8%
④減少 50～75%	1	5.3%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	3	15.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	1	7.1%
②減少 5～25%	4	28.6%
③減少 25～50%	4	28.6%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	2	14.3%
⑦未回答	3	21.4%
総計	14	100.0%

宿泊業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	2	16.7%
②減少 5～25%	4	33.3%
③減少 25～50%	1	8.3%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	1	8.3%
⑥増加	4	33.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

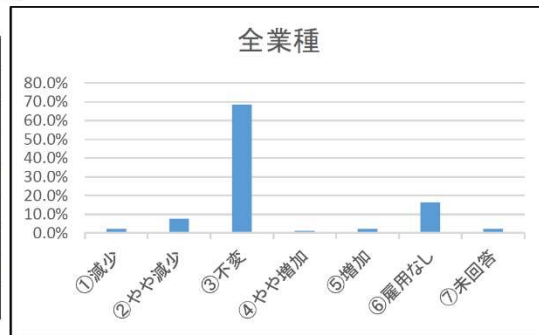
サービス業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	1	8.3%
②減少 5～25%	6	50.0%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	4	33.3%
⑦未回答	1	8.3%
総計	12	100.0%

農業		
10～12月	件数	構成比
①増減なし	1	100.0%
②減少 5～25%	0	0.0%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

2.雇用状況

(令和3年9月30日)と(令和3年12月31日)の比較

全業種		
12月31日	件数	構成比
①減少	2	2.2%
②やや減少	7	7.6%
③不変	63	68.5%
④やや増加	1	1.1%
⑤増加	2	2.2%
⑥雇用なし	15	16.3%
⑦未回答	2	2.2%
総計	92	100.0%



建設業		
12月31日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	1	5.9%
③不変	16	94.1%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
12月31日	件数	構成比
①減少	1	9.1%
②やや減少	2	18.2%
③不変	6	54.5%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	9.1%
⑦未回答	1	9.1%
総計	11	100.0%

卸売業		
12月31日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	6	100.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
12月31日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	2	10.5%
③不変	11	57.9%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	6	31.6%
⑦未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
12月31日	件数	構成比
①減少	1	7.1%
②やや減少	0	0.0%
③不変	10	71.4%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	2	14.3%
⑦未回答	1	7.1%
総計	14	100.0%

宿泊業		
12月31日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	2	16.7%
③不変	7	58.3%
④やや増加	1	8.3%
⑤増加	1	8.3%
⑥雇用なし	1	8.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

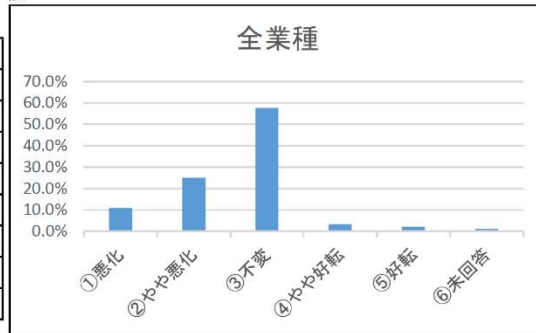
サービス業		
12月31日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	6	50.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	1	8.3%
⑥雇用なし	5	41.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

農業		
12月31日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

3.資金繰り状況

(令和3年9月30日)と(令和3年12月31日)の比較

全業種		
12月31日	件数	構成比
①悪化	10	10.9%
②やや悪化	23	25.0%
③不変	53	57.6%
④やや好転	3	3.3%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	1	1.1%
総計	92	100.0%



建設業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	6	35.3%
③不変	10	58.8%
④やや好転	1	5.9%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	2	18.2%
②やや悪化	2	18.2%
③不変	5	45.5%
④やや好転	1	9.1%
⑤好転	1	9.1%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	1	16.7%
②やや悪化	1	16.7%
③不変	4	66.7%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	4	21.1%
②やや悪化	6	31.6%
③不変	9	47.4%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	4	28.6%
③不変	9	64.3%
④やや好転	1	7.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

宿泊業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	2	16.7%
②やや悪化	3	25.0%
③不変	7	58.3%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

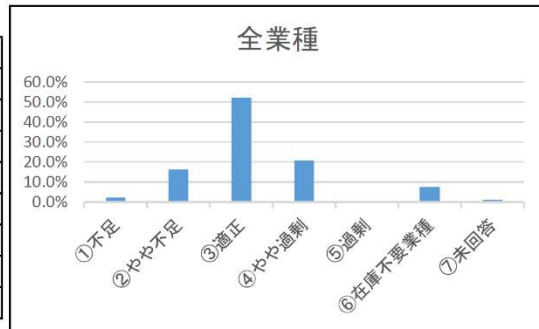
サービス業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	1	8.3%
②やや悪化	1	8.3%
③不変	8	66.7%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	1	8.3%
総計	12	100.0%

農業		
12月31日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

4.在庫状況

(令和3年12月31日現在)

全業種		
12月31日	件数	構成比
①不足	2	2.2%
②やや不足	15	16.3%
③適正	48	52.2%
④やや過剰	19	20.7%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	7	7.6%
⑦未回答	1	1.1%
総計	92	100.0%



建設業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	5	29.4%
③適正	8	47.1%
④やや過剰	2	11.8%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	2	11.8%
⑦未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
12月31日	件数	構成比
①不足	1	9.1%
②やや不足	1	9.1%
③適正	7	63.6%
④やや過剰	2	18.2%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	16.7%
③適正	4	66.7%
④やや過剰	1	16.7%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	3	15.8%
③適正	8	42.1%
④やや過剰	7	36.8%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	1	5.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	2	14.3%
③適正	8	57.1%
④やや過剰	4	28.6%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

宿泊業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	8.3%
③適正	7	58.3%
④やや過剰	2	16.7%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	2	16.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

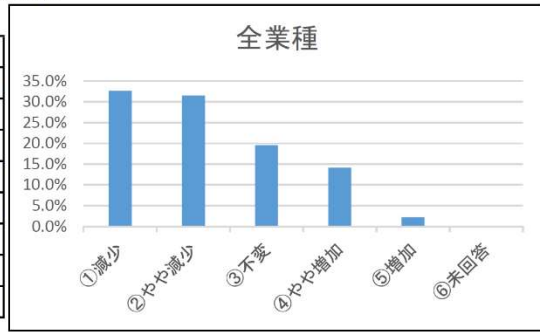
サービス業		
12月31日	件数	構成比
①不足	1	8.3%
②やや不足	1	8.3%
③適正	6	50.0%
④やや過剰	1	8.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	2	16.7%
⑦未回答	1	8.3%
総計	12	100.0%

農業		
12月31日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	100.0%
③適正	0	0.0%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

5.今後の見通し(売上高)

(令和3年10月～12月)と(令和4年1月～3月)の比較

全業種	1～3月	件数	構成比
①減少		30	32.6%
②やや減少		29	31.5%
③不変		18	19.6%
④やや増加		13	14.1%
⑤増加		2	2.2%
⑥未回答		0	0.0%
総計		92	100.0%



建設業	1～3月	件数	構成比
①減少		3	17.6%
②やや減少		6	35.3%
③不変		6	35.3%
④やや増加		2	11.8%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		17	100.0%

製造業	1～3月	件数	構成比
①減少		5	45.5%
②やや減少		2	18.2%
③不変		4	36.4%
④やや増加		0	0.0%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		11	100.0%

卸売業	1～3月	件数	構成比
①減少		2	33.3%
②やや減少		2	33.3%
③不変		0	0.0%
④やや増加		2	33.3%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		6	100.0%

小売業	1～3月	件数	構成比
①減少		7	36.8%
②やや減少		4	21.1%
③不変		3	15.8%
④やや増加		5	26.3%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		19	100.0%

飲食業	1～3月	件数	構成比
①減少		4	28.6%
②やや減少		7	50.0%
③不変		1	7.1%
④やや増加		2	14.3%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		14	100.0%

宿泊業	1～3月	件数	構成比
①減少		6	50.0%
②やや減少		3	25.0%
③不変		2	16.7%
④やや増加		1	8.3%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		12	100.0%

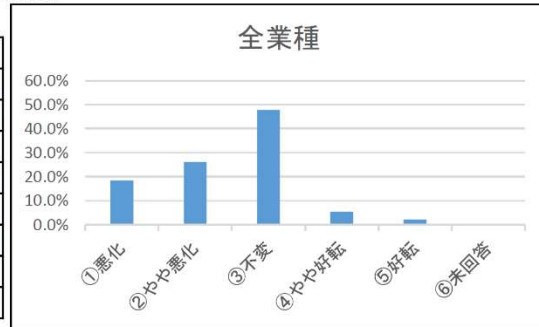
サービス業	1～3月	件数	構成比
①減少		3	25.0%
②やや減少		5	41.7%
③不変		1	8.3%
④やや増加		1	8.3%
⑤増加		2	16.7%
⑥未回答		0	0.0%
総計		12	100.0%

農業	1～3月	件数	構成比
①減少		0	0.0%
②やや減少		0	0.0%
③不変		1	100.0%
④やや増加		0	0.0%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		1	100.0%

6.今後の見通し(資金繰り)

(令和3年10月～12月)と(令和4年1月～3月)の比較

全業種		
1～3月	件数	構成比
①悪化	17	18.5%
②やや悪化	24	26.1%
③不変	44	47.8%
④やや好転	5	5.4%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	92	100.0%



建設業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	1	5.9%
②やや悪化	8	47.1%
③不変	7	41.2%
④やや好転	1	5.9%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	2	18.2%
②やや悪化	3	27.3%
③不変	5	45.5%
④やや好転	1	9.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	2	33.3%
②やや悪化	1	16.7%
③不変	3	50.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	5	26.3%
②やや悪化	5	26.3%
③不変	9	47.4%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	1	7.1%
②やや悪化	5	35.7%
③不変	6	42.9%
④やや好転	2	14.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

宿泊業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	3	25.0%
②やや悪化	1	8.3%
③不変	8	66.7%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

サービス業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	3	25.0%
②やや悪化	1	8.3%
③不変	5	41.7%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	2	16.7%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

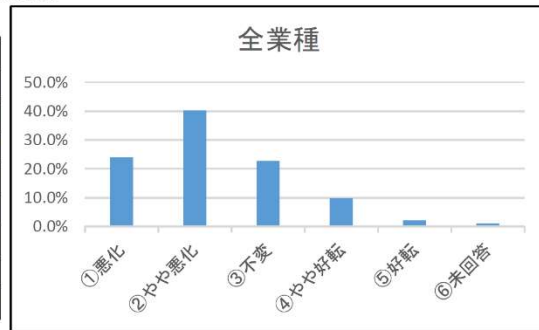
農業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

7.今後の見通し(業況判断)

(令和3年10月～12月)と(令和4年1月～3月)の比較

全業種

1～3月	件数	構成比
①悪化	22	23.9%
②やや悪化	37	40.2%
③不変	21	22.8%
④やや好転	9	9.8%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	1	1.1%
総計	92	100.0%



建設業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	1	5.9%
②やや悪化	8	47.1%
③不変	7	41.2%
④やや好転	1	5.9%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	17	100.0%

製造業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	3	27.3%
②やや悪化	3	27.3%
③不変	3	27.3%
④やや好転	2	18.2%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	11	100.0%

卸売業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	2	33.3%
②やや悪化	2	33.3%
③不変	2	33.3%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	6	100.0%

小売業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	5	26.3%
②やや悪化	8	42.1%
③不変	3	15.8%
④やや好転	3	15.8%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	19	100.0%

飲食業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	4	28.6%
②やや悪化	7	50.0%
③不変	1	7.1%
④やや好転	2	14.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

宿泊業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	5	41.7%
②やや悪化	5	41.7%
③不変	1	8.3%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

サービス業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	2	16.7%
②やや悪化	4	33.3%
③不変	3	25.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	2	16.7%
⑥未回答	1	8.3%
総計	12	100.0%

農業		
1～3月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

②中小企業景況感 (DIは、増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた値を示します。)

製造業

売上額、採算を中心に幅広い業種で改善した製造業の景況

2021年10-12月期の製造業の主要3DIは、売上(加工)額はマイナス8.3(前期比4.3ポイント上昇)、採算(経常利益)DIはマイナス20.3(同2.9ポイント上昇)、資金繰りDIはマイナス13.1(同2.0ポイント上昇)といずれも前期から改善した。特に売上額DIの水準がマイナス8.3と1桁台まで改善したのは2018年4-6月期以来のことである。DIを1年前の同時期と比較すると、売上は46.3ポイント、採算は26.1ポイント、資金繰りは15.6ポイントと大きく上回る。また今回の主要3DI全てにおいて、コロナ前(2019年の同時期)の水準を上回る結果となった。

内訳をみると、3DIのいずれも当期が前年より「減少・低下・悪化」したという回答が低下(それぞれ売上4.7ポイント、採算2.3ポイント、資金繰り1.3ポイント)している。一方、「増加・上昇・好転」したという回答の割合の改善幅は小さく、採算0.6ポイント、資金繰り0.7ポイント、売上額についてはマイナス0.4ポイントとわずかながら悪化した。

業種別にみたDIも多くの範囲で改善しており、売上額は全17業種中12業種、採算は11業種、資金繰りは10業種で対前期から上昇した。また、水準自体がプラスの業種としては、「パルプ・紙・紙加工品製造業」(売上23.5)、「一般機械器具製造業」(売上21.1、採算0.6)、「電気機械器具製造業」(売上3.7)、「輸送用機械器具製造業」(売上8.5)、「精密機械器具製造業」(売上52.6、採算10.5、資金繰り5.2)の5業種を確認することができる。中でも「精密機械器具製造業」の売上額は対前期31.5ポイント上昇した結果、50を超える水準(52.6)となっている。

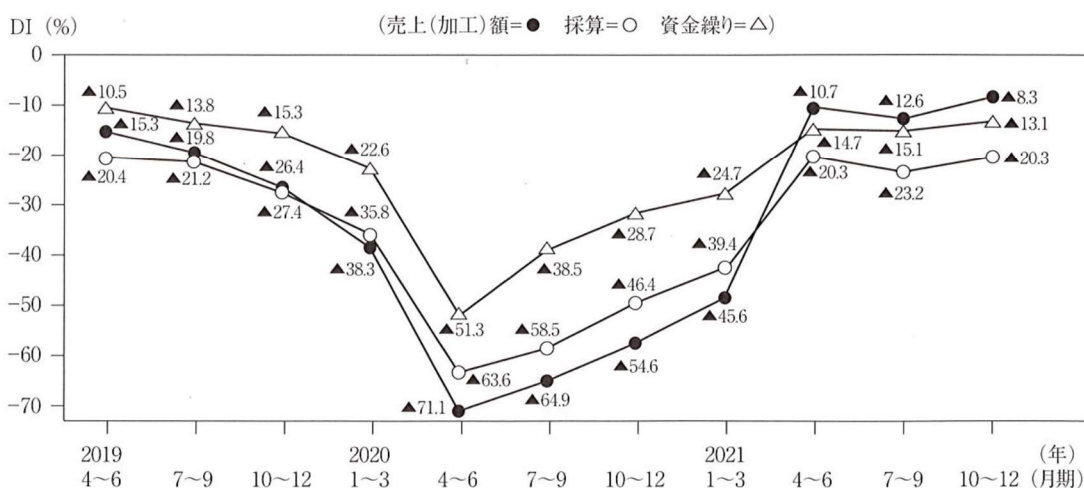
地域別でみると、売上額は8地域中6地域でDIが前期と比べて改善し、そのうち「北海道」「関東」「九州」の3地域は主要3DI全てが前期と比較して上昇している。また、「中国」の売上額DIの水準はプラスに回復しており(0.6)、その他「関東」「中部」の売上額も徐々にゼロ近傍の水準に近づいていることがわかる(それぞれ-2.5、-3.3)。

人口規模別のDIは「人口一万未満の地区」における売上額が対前期でわずかにマイナス(-0.4ポイント)となった以外は上昇している。特に売上額は規模が大きいほど水準も高い傾向にあり、一番大きい十万人以上の地区は水準がプラスに回復した(1.5)。一方で従業員規模別でみたDIは、21人以上の比較的大きい3区分で対前期よりも3DIが悪化している。ただし水準でみると、特に売上額はこの3区分を含む上位4区分でプラスを回復していることがわかる。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘されるのは前回2位だった「原材料価格の上昇」は27.3%で、対前期9.1ポイントも増加した。長期に渡って1番問題点として指摘される割合が多かった「需要の停滞」は21.4%で2位となり、対前期比では8.8ポイント低下している。依然として需要不足の懸念を指摘する割合は大きいものの、原料価格高騰の影響は確実に大きくなっている。以降は3位に「生産設備の不足・老朽化」9.9%(同0.3ポイント低下)、4位「従業員の確保難」8.5%(同0.7ポイント上昇)と従来から上位の項目が続く。

1. 主要3項目の動き

〈図2-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	34.9	△1.9	4.3		19.1	△2.9	2.9	
前年比	60.4	52.3	46.3		43.3	35.3	26.1	

建設業

他と比較してゆるやかな改善幅となった建設業

2021年10-12月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス16.3（前期比1.7ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス24.4（同1.8ポイント上昇）と改善したが、資金繰りDIはマイナス11.4となり、前期から1.4ポイント低下した。ただし、建設業の資金繰りは元々他の業種と比較すると高い傾向にあり、今回も4業種の中ではDIの水準自体が一番高い結果であった。1年前の水準と比較すると、完成工事は7.8ポイント、採算と資金繰りはそれぞれ0.3ポイントとわずかながら前年同期を上回る。ただしいずれのDIも一昨年同時期の水準には依然として届いていない状況である。

DIの内訳をみると、完成工事、採算の2つは、当期が前年より「増加・上昇・好転」したという回答の割合が上昇し（完成工事1.0ポイント、採算0.9ポイント）、「減少・低下・悪化」したという回答が低下（売上0.7ポイント、採算0.9ポイント）していた。一方、資金繰りだけは「増加・上昇・好転」が0.7ポイントの減少、「減少・低下・悪化」が0.7ポイント増加している。

業種別DIをみると、全体の5割以上を占める「総合工事業」の売上額がプラス2.5ポイント、続く「職別工事業」もプラス1.8ポイントに改善している。残る「設備工事業」は今回3DIとも前期比でマイナスとなった（売上0.7ポイント、採算0.9ポイント、資金繰り1.7ポイント、それぞれ減少）ものの、全体に占める割合は18%と比較的小さいため与える影響は軽微であった。

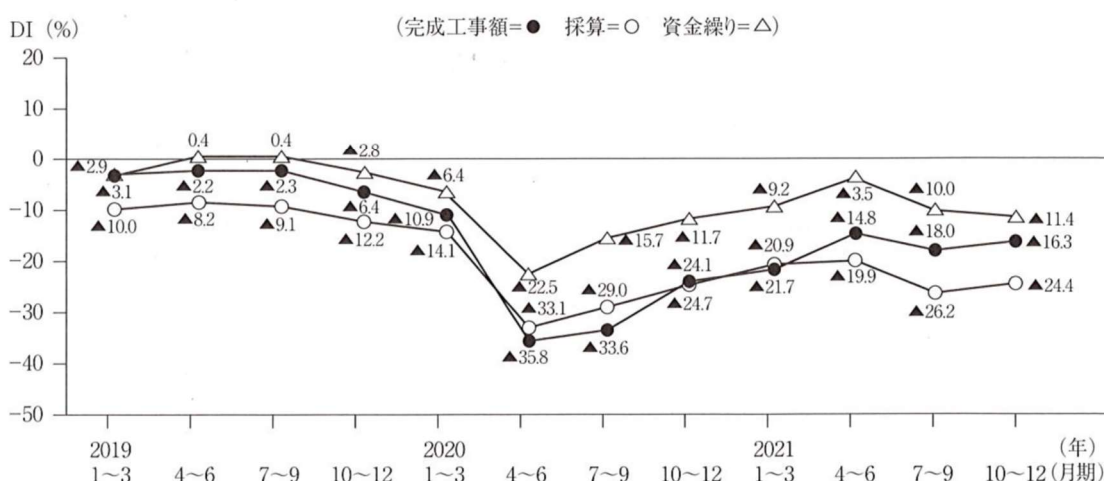
地域別では売上額が全8地域中6地域で改善し、対前期でマイナスだったのは「中部」「九州」のみだったが、このうち「中部」は3DI全てが対前期で悪化している（売上6.4ポイント、採算4.7ポイント、資金繰り3.0ポイントそれぞれ低下）。また、今回「北海道」の売上額の水準がプラスに回復する結果となっている（2.3）。

人口規模別は区分の違いで特に明確な傾向はないものの、今回は資金繰りが悪化するケースが多く、全4区分中3区分で対前期マイナスだった。水準は区分別での格差はさほど見られない。従業員規模も区分の違いで明確な違いや傾向はみられないが、「3人～5人以下」の比較的小規模な区分のみ主要3DI全てが対前期で改善した（売上1.2ポイント、採算1.0ポイント、資金繰り2.1ポイントそれぞれ上昇）。

経営上の問題点の推移をみると、「材料価格の上昇」が35.3%と対前期で8.4ポイント増加し、3期連続で1位となった。加えて「材料の入手難」も7.3%と前回から2.5ポイント増加して第5位に上昇しており、両者をあわせると4割以上の経営者が材料調達に関する問題点をあげている。「従業員の確保難」（15.9%）は0.4ポイント減少したものの、引き続き2位となった。3位は「民間需要の停滞」（10.0%）、4位「官公需要の停滞」（8.0%）と続くが、前期よりはいずれもその割合が低下している。

1. 主要3項目の動き

〈図3-1〉主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	6.9	△3.2	1.7		▲1.0	△6.3	1.8	
前年比	21.0	15.6	7.8		13.2	△2.8	0.3	

小売業

他の分野より低い水準ながら3DI全てが改善した小売業

2021年10-12月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス34.4（前期比8.5ポイント上昇）、採算DIはマイナス41.0（同3.0ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス25.3（同2.7ポイント上昇）といずれも前期から上昇し、特に売上額DIが大きく改善した。ただしDIの水準自体は、他の業種より低く推移する傾向が続いている。1年前の水準と比較しても、売上は16.0ポイント、採算は2.7ポイント、資金繰りは0.8ポイント改善し、そのうち売上額DIだけは一昨年同時期の水準も上回る結果になった。

DIの内訳をみると、売り上げについては当期が前年より「減少・低下・悪化」したという回答が低下し（5.8ポイント）、「増加・上昇・好転」したという回答の割合も増加（2.7ポイント）していることによって全体のDIが改善している。一方、採算と資金繰りに関しては「減少・低下・悪化」したという回答は同様に低下しているものの（採算3.0ポイント、資金繰り2.6ポイントそれぞれ減少）、「増加・上昇・好転」の割合は前期からほぼ横ばいで推移していることが特徴的である。

業種別にみたDIは、主要3DIの多くが対前期で上昇している。中でも売上額は6業種中5業種で改善しており、全体の4割以上を占める「食料品小売業」（対前期11.3ポイント上昇）、同3割を占める「その他小売業」（同11.8ポイント上昇）が前期から2桁を超えて改善したのが大きい。一方、「家具・建具・じゅう器小売業」だけは3DI全てが前期より悪化している（売上11.5ポイント、採算12.4ポイント、資金繰り3.2ポイントそれぞれ低下）。

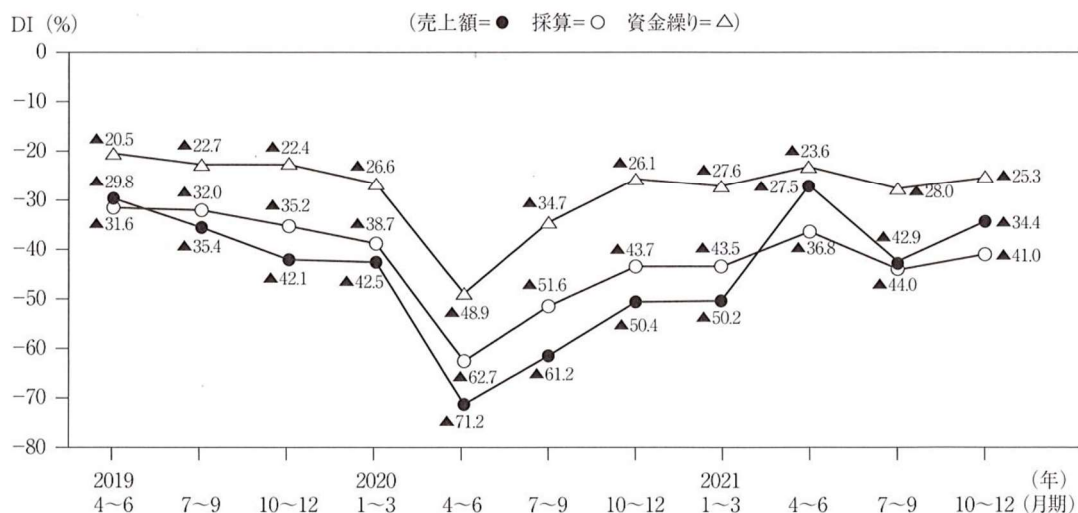
地域別も多く多くの区分で対前期が改善している。その中で唯一「北海道」のみが3DI全てで対前期マイナスだった（売上20.3ポイント、採算2.1ポイント、資金繰り5.1ポイントそれぞれ低下）が、それ以外で悪化したのは「近畿」の資金繰りのみである（対前期0.9ポイント低下）。人口規模別で前期よりもDIが低下したのは比較的規模の小さい「人口一万人未満の地区」「人口一万人～三万人未満の地区」の2区分の資金繰りのみだった（それぞれ対前期2.9、3.2ポイント低下）。従業員規模別においても規模の小さい「2人以下」「3人～5人」の2つで3DI全てが対前期で上昇している。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘される割合は8期連続で「需要の停滞」が一番高く20.3%だったが、前期からは6.1ポイント減少している。2位には前回6位だった「仕入単価の上昇」が入り、指摘する割合は16.7%と対前期で6.9ポイントも上昇しており、ここでも原材料費価格上昇が経営に影響を与えていることが示されている。

3位以降は「購買力の他地域への流出」12.7%（対前期1.4ポイント増加）、「大型店・中型店の進出による競争の激化」12.3%（同1.0ポイント増加）と続く。前回2位だった「消費者ニーズの変化」は11.9%と前回からほぼ横ばいの割合ながら順位は2位から5位へと下落している。

1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	22.7	△15.4	8.5		6.7	△7.2	3.0	
前年比	43.7	18.3	16		25.9	7.6	2.7	

サービス業

宿泊業、飲食店が回復し、主要3DIの改善幅も大きいサービス業

2021年10-12月期のサービス業の主要3DIは、売上(収入)額DIはマイナス26.3(前期比15.0ポイント上昇)、採算(経常利益)DIはマイナス37.7(同6.0ポイント上昇)、資金繰りDIはマイナス19.1(同10.3ポイント上昇)となった。サービス業はコロナ禍における影響で、他の業種と比較し一番低い水準で推移することも多かったが、今期は主要3DIとも一番改善幅が大きくなった。DIを1年前の水準と比較すると、売上は29.1ポイント、採算は10.4ポイント、資金繰りは12.9ポイントといずれも2桁の改善幅を示しているものの、いずれのDIも一昨年同時期の水準までには戻ってはいないことがわかる。

DIの内訳をみると、当期が前年より「減少・低下・悪化」したという回答が低下(売上9.3ポイント、採算6.6ポイント、資金繰り7.6ポイントそれぞれ減少)しているが、これは他の業種と比較しても大きい。また、「増加・上昇・好転」したという回答の割合も増加(売上5.7ポイント、採算3.0ポイント、資金繰り2.7ポイントそれぞれ上昇)しており、主要3DIの改善に寄与している。

業種別の主要3DIは全ての分野で改善したが、中でも「飲食店(一般・遊興)」(対前期、売上額34.1ポイント、採算22.3ポイント、資金繰り20.2ポイントそれぞれ上昇)と「宿泊業」(同、売上額19.6ポイント、採算14.3ポイント、資金繰り18.7ポイントそれぞれ上昇)は前回からの改善幅がいずれも2桁以上と大きい。また、「宿泊業」「運送業」「自動車整備業」「その他サービス業」の売上額はすでに一昨年前同時期の水準を超えて改善していることがわかる。

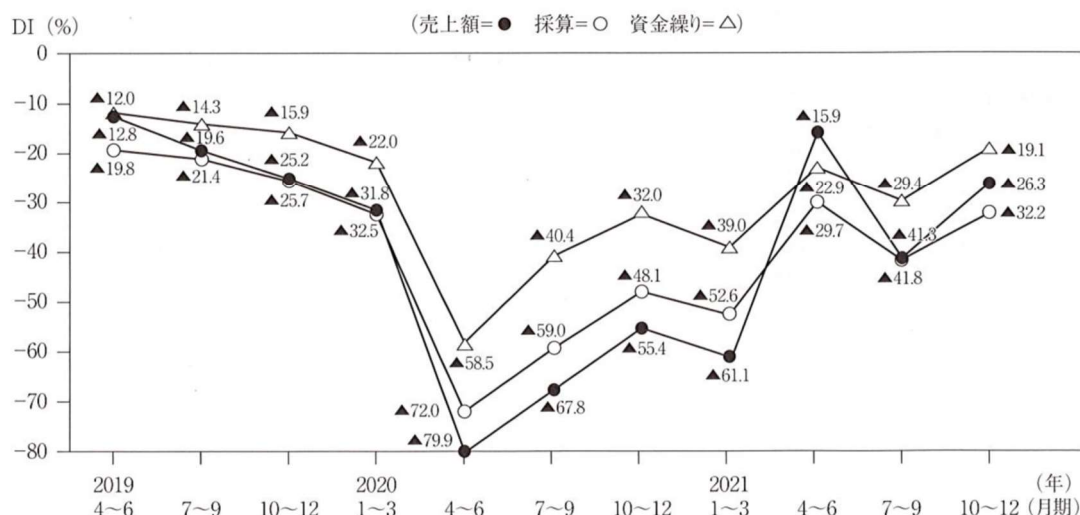
地域別も主要3DIはほぼ全てで改善しており、対前期比でマイナスとなったのは「近畿」の採算のみだった(対前期0.9ポイント低下)。また、「北海道」「関東」「九州」の3地域は、主要3DIが対前期で2桁以上の改善をみせている。

人口規模別も全ての区分でDIが改善した。特に売上額は全ての区分で対前期2桁の改善幅となった。従業員規模別でみた状況も同様で、前期より悪化したのは「11人~20人以下」「21人以上」の比較的大規模な2区分の採算のみだった(それぞれ対前期0.4ポイント、3.5ポイント低下)。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘されるのは前回に引き続き「需要の停滞」だったが、その割合は25.8%と前回に比べ7.6ポイントも低下した。2位は「利用者ニーズの変化」17.7%だったが、こちらは前回からは2.0ポイント増加している。続く3位は「材料等仕入単価の上昇」13.6%だが、その割合は前期比7.6ポイントとほぼ倍増し、前回の5位から浮上した。ここでもコスト面の問題点を指摘する経営者が増加したことがわかる。以降は「店舗施設の狭隘・老朽化」8.5%(同0.4ポイント増加)、「従業員の確保難」7.1%(同1.1ポイント増加)と続く。

1. 主要3項目の動き

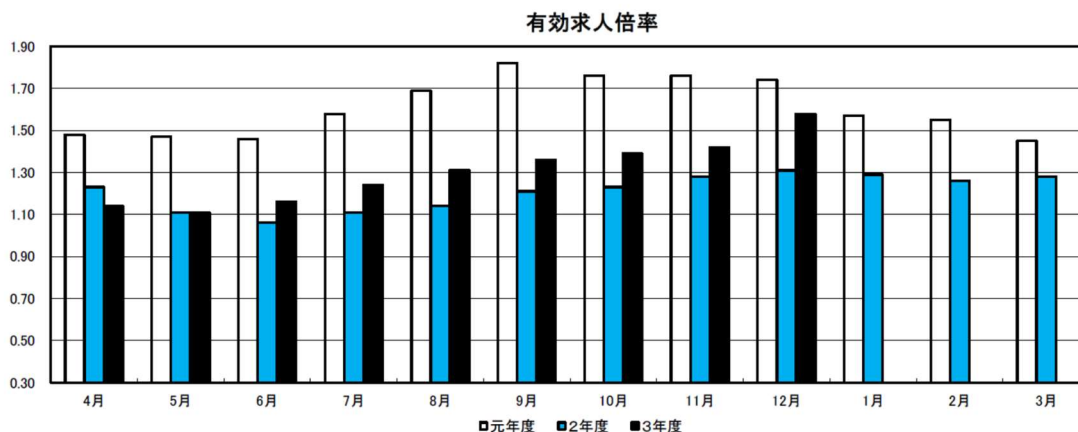
〈図5-1〉主要景況項目の推移 — 前年同期比 —



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	45.2	△25.4	15		22.9	△12.1	9.6	
前年比	64.0	26.5	29.1		42.3	15.3	15.9	

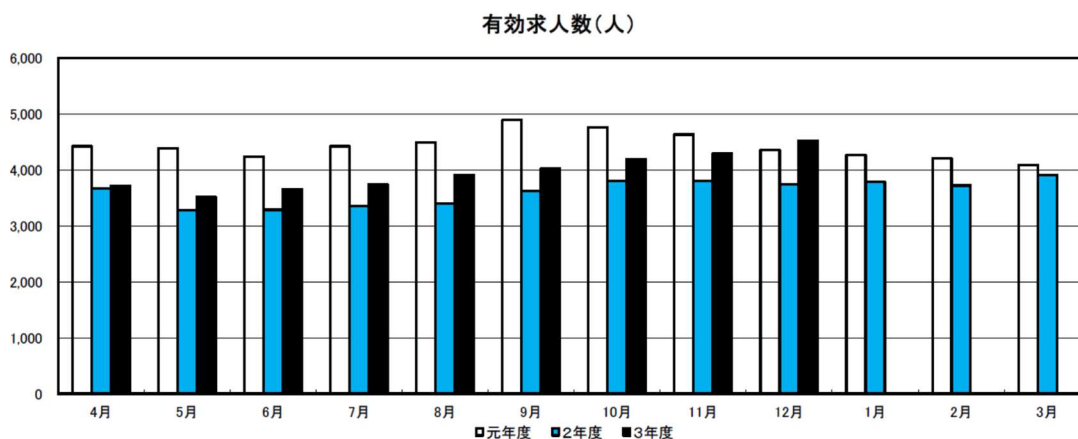
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82	1.76	1.76	1.74	1.57	1.55	1.45	1.61
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58				
対前月(増減)	△0.14	△0.03	+0.05	+0.08	+0.07	+0.05	+0.03	+0.03	+0.16				—
対前年(増減)	△0.09	0.00	+0.10	+0.13	+0.17	+0.15	+0.16	+0.14	+0.27				—

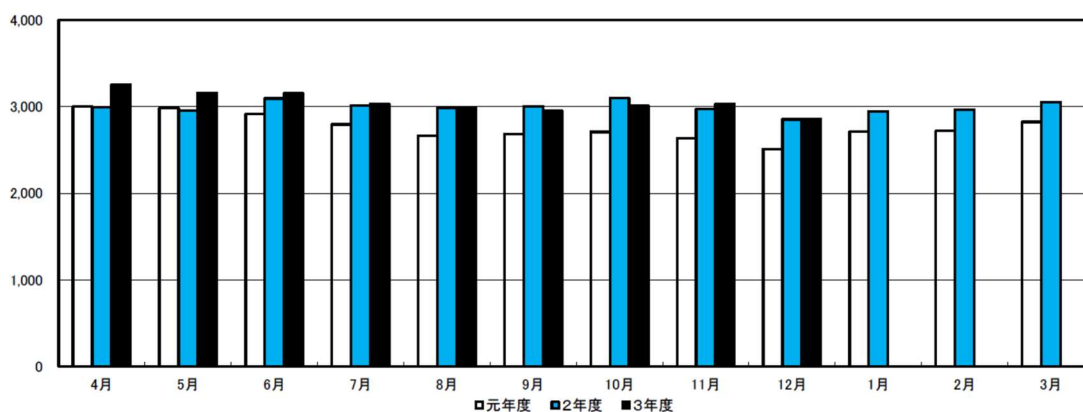
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896	4,763	4,636	4,362	4,271	4,213	4,096	4,435
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523				3,954
前月比(%)	△4.78	△5.48	+3.95	+2.30	+4.54	+2.94	+4.20	+2.31	+5.38				—
前年同月比(%)	+1.17	+7.03	+11.09	+11.44	+15.00	+11.03	+10.13	+12.77	+20.52				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

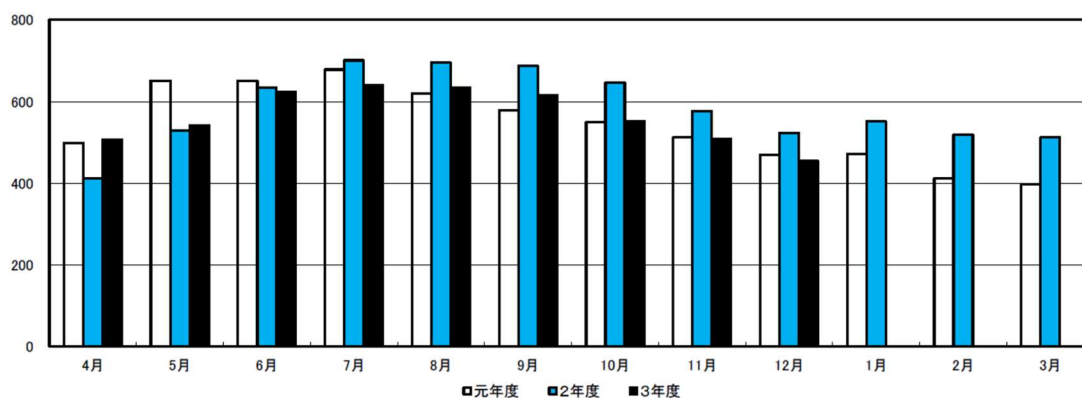
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686	2,709	2,638	2,511	2,713	2,722	2,824	2,763
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857				3,048
前月比(%)	+6.68	△2.89	△0.25	△3.96	△1.55	△0.94	+1.83	+0.70	△5.68				—
前年同月比(%)	+8.64	+6.93	+1.91	+0.56	△0.07	△1.66	△3.00	+1.82	+0.11				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	499	651	651	678	620	579	549	512	469	472	412	398	541
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454				564
前月比(%)	△0.98	+6.90	+15.13	+2.56	△0.94	△3.00	△10.24	△7.97	△10.63				—
前年同月比(%)	+23.06	+2.46	△1.58	△8.70	△8.78	△10.48	△14.55	△11.81	△13.03				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)

④業種別業況判断

主要業種の概況

繊維・衣服等 卸売業	景況感は悪い。4月は鞆の売れ行きが悪く、5,6月に少し回復したものの、7～9月は昨年度並みに悪かった。製品を輸入することが多いため、円安の影響により打撃を受けた。緊急事態宣言が明けても、在宅勤務を続けている。兵庫県鞆工業組合はSDGsに取り組んでおり、最近では廃棄漁網から鞆を作ったことが話題となった。鞆の原材料は生産工場の減少により価格が上昇し利益にマイナス影響がある。豊岡鞆業界の中でも、個人経営の下請けの店は一部閉業した。
宿泊業	景況感はさほど良くない。前年度比の売上は9月95%、10月45%、11月は100%を超える予想している。団体旅行をする企業が少なく、営業先がない。個室で食事ができる環境が、お客様の高評価に繋がっている。県民割は、多い日で1日100件の予約を確定した。通常時でも50件の予約がある。人の流れを平準化するため、県民割とほぼと新温泉宿泊助成事業は併用しない宿が多い。湯治文化の周知や山陰アニメロードの整備、ワーケーションに力を入れたい。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年10月)」より

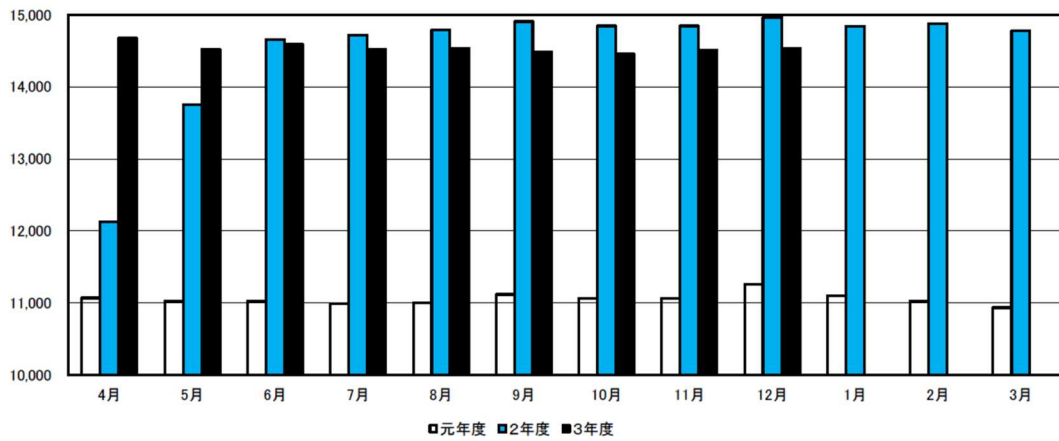
食料品 製造業	景況感は良い。11月と12月は例年繁忙期である。コロナ前と比較して、通信販売商品の売上が10%伸びているが、地元の旅館や加工店等の観光関係の取引先は厳しい状況が続いている。試食会や料理教室が中止となったが、SNSを活用し、お客様との接点を増やしていきたい。海外への販路開拓を進めるため、海外とのWEB商談は引き続き実施している。商品パッケージを一新し、プラスチックの減量に繋がった。砂糖や包材の値上げは、業況にマイナスの影響を与えている。
娯楽業、 宿泊業	景況感はさほど良くない。例年は大阪府からの観光客が多数を占めるが、10月開始の県民割により、県内の観光客が多い。客室稼働率は例年より良いが、個人客が多く、客数は大幅な減少となっている。ふるさと応援旅クーポンや豊岡旅クーポンを使う観光客が多く、お土産の売上が伸びている。原油や食材の値上げは、業況にマイナスの影響を与えている。11月は県内の学校の修学旅行生を受け入れた。コロナ禍での社員同士の交流の仕方を模索している。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年11月)」より

道路旅客 運送業	景況感はさほど良くない。昨年と比較しても、あまり回復の兆しはない。コロナ前の前々年と比較すると、バスの稼働率は6割程度であり、団体旅行は2,000件減少し、2億円の損失である。今後、企業の慰安旅行は無くなると予測しているが、教育旅行は昨年と比較すると回復傾向にある。今年は近畿圏を周遊する学校が多く、近場の方がバスを全行程で利用するため、例年の関西空港までの送迎より1つの学校当たりの利益が多い。特急バスは直前予約が多い。
その他の 製造業	景況感はさほど良くない。納期の長期化を問題視している。半導体不足により、製品の部品や製品を製造・加工するための機械の部品不足により、受注を受けてもすぐに製造ができない。特殊なダイヤモンドを使用した製品は受注が多く、数ヶ月待ちである。工業用の加工に使用する製品は受注が少ない。原油価格の上昇、トラック運転手の不足、運送料の値上げ等、物流費の高騰が業況にマイナスの影響を与えている。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年12月)」より

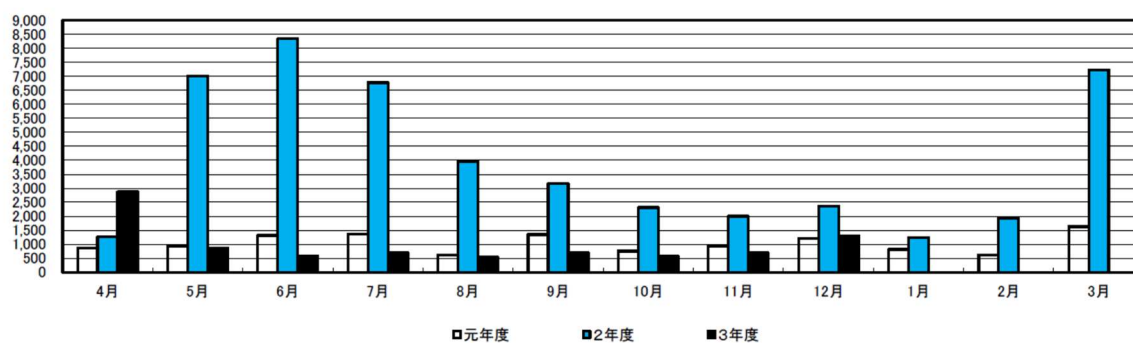
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122	11,062	11,066	11,258	11,105	11,034	10,938	11,059
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538				14,536
前月比 (%)	△0.70	△1.09	+0.52	△0.45	+0.10	△0.35	△0.23	+0.35	+0.23				—
前年同月比 (%)	+20.97	+5.56	△0.46	△1.33	△1.72	△2.82	△2.63	△2.29	△2.85				—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

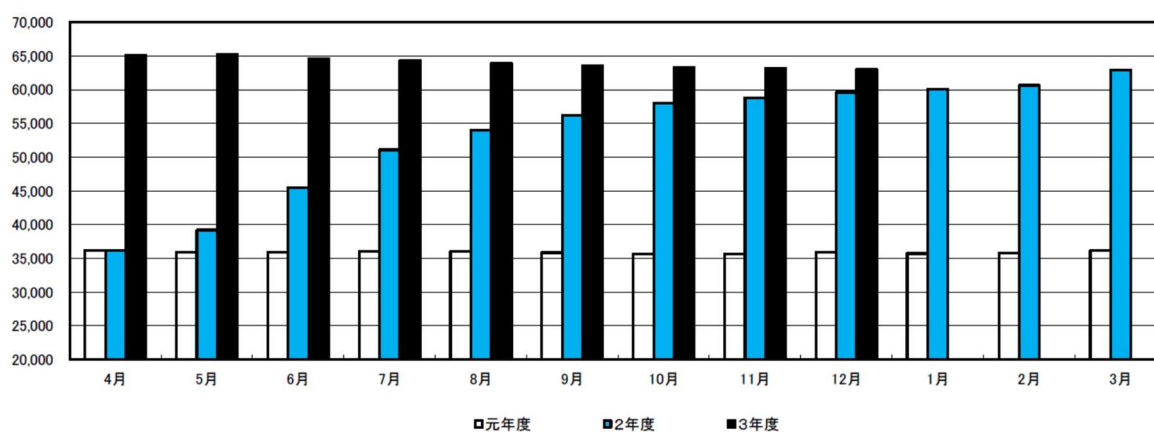
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348	759	925	1,209	817	624	1,627	1,034
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305				980
前月比(%)	△60.25	△70.01	△31.79	+17.35	△22.75	+34.33	△20.67	+20.77	+90.23				—
前年同月比(%)	+128.64	△87.72	△92.95	△89.82	△86.58	△77.47	△75.46	△65.68	△44.75				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

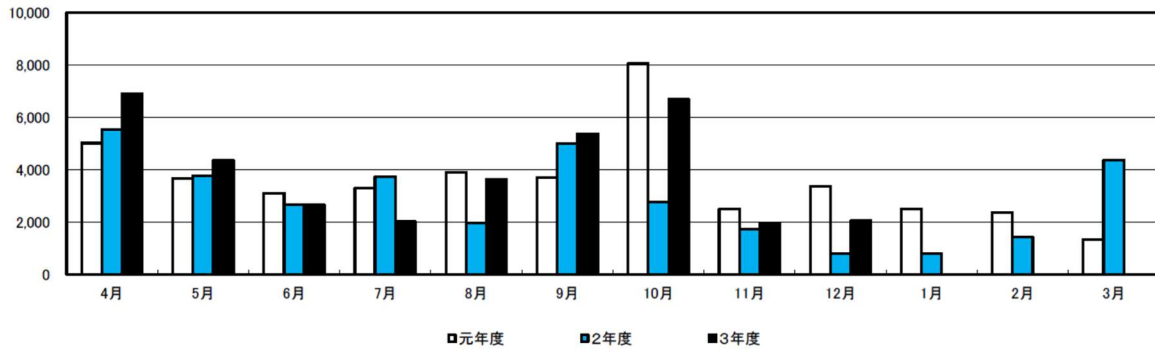


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856	35,678	35,635	35,926	35,721	35,735	36,121	35,897
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982				64,025
前月比(%)	+3.41	+0.25	△1.02	△0.42	△0.66	△0.51	△0.4	△0.26	△0.27				—
前年同月比(%)	+80.19	+66.45	+42.1	+25.9	+18.44	+13.19	+9.19	+7.37	+5.62				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

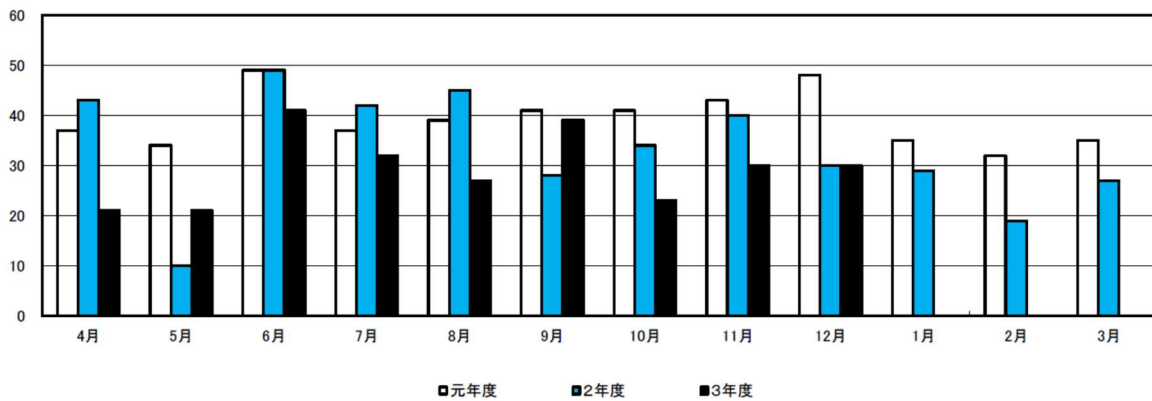


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678	8,053	2,491	3,358	2,487	2,357	1,334	3,560
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045				3,954
前月比 (%)	58.32	△ 36.85	△ 39.25	△ 24.00	81.08	47.80	24.36	△ 70.66	4.28				—
前年同月比 (%)	24.27	15.33	△ 0.71	△ 46.12	85.79	7.33	143.11	13.75	161.17				—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	37	34	49	37	39	41	41	43	48	35	32	35	471
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30				264

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)